月刊 あなたにこの本を！ 平成21年2月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

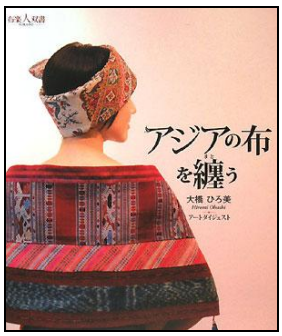
※価格のあとの（　）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

キルトをはいた外交官 ―笑いは世界をめぐる―

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

大塚清一郎　著
ランダムハウス講談社
1680 円　(0011693624)

メキシカンバンドを結成したり、バグパイプを演奏するなど、多芸多才な外交官だった著者。外交の席でも、各国で流行のジョークを覚えて披露したり、その異色の存在は現地でも話題となった。本書は、長年の外交官生活を振り返り、各地での体験などを軽妙な文章でつづったエッセイ。笑いを通して、楽しみながら外国人との交流の輪を広げていく著者の姿が印象的で、「外交官である前に魅力ある人間であるべき」という彼のポリシーが伝わってくる。　〔319.1〕



アジアの布を纏(まと)う

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

大橋ひろ美　著
ｱｰﾄﾀﾞｲｼﾞｪｽﾄ　1995 円　(0011739360)

著者は、ラオス産の手織りショールを和装の帯として合わせたところ、しっくりなじんで驚いたという。それぞれの布の歴史にも触れながら、アジア 16 カ国の伝統布を使った 46 種の日常的な装いを、豊富な写真とともに紹介する。タイシルク「マドミー」はベスト、スカート、スカーフの三通りにアレンジ。どれも裁縫を最小限に抑えており、気軽に挑戦できる。繊細な刺繍(ししゅう)などが施された色鮮やかな布の写真は、見ているだけでも楽しめる。　〔589.2〕

大人になるヒント

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

中沢けい　著
ﾒﾃﾞｨｱﾊﾟﾙ　1575 円　(0011731824)

作家であり大学教授でもある著者が中学時代を考えた。ショートホームルームで始まる1日の授業の形で「自分」「友だち」など5つのテーマを取り上げる。各テーマでは、大学生たちが中学時代を振り返る座談会の後、著者自身が経験をまじえて、考えることの大切さ等を語る。思春期をむかえてとまどう中学生に贈る「大人になる」ことの先輩からのアドバイス集。大人になった人にも、悩みの多かった中学時代を思い出させてくれる。　〔371.45〕

鉱物(いし)アソビ　ー暮らしのなかで愛(め)でる鉱物の愉(たの)しみ方ー

フジイキョウコ　著
ジャンル ： 自然・環境を考える
ブルース・インターアクションズ　1890 円　(0011734738)

誰でも一度は川原で拾ったきれいな石を大切にしまっていた経験があるのでは？　本書は、その気持ちを大切に鉱物を愉しむビジュアルガイドブックだ。著者は、「心の感じるまま雑貨やアートのように愛でる」をコンセプトに鉱物をカラフルな砂糖菓子に見立てたり、空き箱を使っておしゃれにディスプレイしたり、といった身近なアソビ方を紹介。また、分類方法など基礎知識もわかりやすく解説する。奥深く美しい「ミネラルワールド」へと誘う一冊。　〔459〕

夏から夏へ

佐藤多佳子　著
ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ
集英社　1575円　(0011692606)

高校陸上小説を著した作家が、2007年大阪世界陸上の４×100メートルリレー日本代表チームに迫る。第１部では観る側と走者の視点を交え、大会での戦いをドキュメンタリー風に描く。第２部では大会後、リレーの出場者と予備選手、彼らを育て支えてきた家族や監督を取材して、選手個々の素顔を描き出す。やがて北京五輪でメダルを勝ち取ることになる彼らの奮闘ぶりが、簡明かつ丁寧な文章から見えてくる。真摯(しんし)な挑戦者の姿は清々しく感動的だ。　〔782〕

かーかん、はあい　ー子どもと本と私ー

俵　万智　著
ジャンル ： 子どもの成長のために
朝日新聞出版　1260 円　(0011753723)

歌人である著者が、幼い息子に読みきかせてきた絵本を紹介するエッセイ集。「かーかん(お母さん)」と片言で話しかける子どもが、絵本に出会い成長していく様子を生き生きとつづる。絵本の世界に引き込まれ登場人物に語りかける子どもの姿に、絵本は心の栄養源だ、と改めて気付かされる。多数収録された育児にまつわる短歌は味わい深く、絵本作家、五味太郎による挿絵も温かみにあふれている。乳幼児向け絵本のリストとしても役立つ。　〔019〕

ニッポンの評判　ー世界17カ国最新レポートー

今井佐緒里　編
ジャンル ： 現代社会を見つめる
新潮社　735円　(0011703956)

いま日本がカッコいいと世界から注目されている。海外で実際にどういう評価を得ているのか、世界各国に在住する日本人18人がレポートする。日本人は「仕事が遅い」、「自己中心的」といった指摘もあるものの、ブラジルではJ－POPが、イタリアでは芸術分野で日本がブームになるなど、新しい評価も加わっている。日本人が「確実に世界で評価されている」ことがわかり、評判を通してそれぞれのお国がらや人々の考え方も見えてくる。　〔361.62〕

日本の国宝、最初はこんな色だった

小林泰三　著
ジャンル ： 知識・教養を深める
光文社　1050円　(0011740737)

日本美術のデジタル復元に取り組む著者が、その手法を紹介し、復元により明らかになる日本美術の色彩について語る。絵巻物をはじめとする復元作業では、当時の顔料を研究したり、専門家の意見を聞いたりしながら、失われた鮮やかな色を取り戻していく。「檜図屏風(ひのきずびょうぶ)」では、本体に残された引き手の跡から襖絵(ふすまえ)の形態を推測。コンピュータ上に再現し、臨場感あふれる絵の世界を伝える。国宝を新たな視点で見るきっかけになる。　〔709〕